

地区社協だより もりやま



蓮華石岳山頂から

子どもと高齢者が世代を超えて交流を深める ～第2回ふれあいモルック大会を開催～

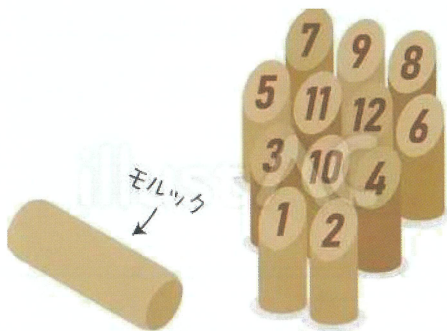
フィンランド生まれの頭脳スポーツであるモルック大会が2月11日（建国記念の日）に開催されました。これは核家族化が進むなかで子どもと高齢者との世代間交流を目的として開催しているもの。会場の森山公民館には、老人クラブ、子ども会、保護者ら約90人が参加。

「モルック」は、年齢性別を問わず誰でも気軽にできる簡単で楽しいスポーツですが、反面、チームの緻密な戦略と駆け引きがゲームを左右するチームプレーです。ルールは、モルック（投げる棒）を下手投げで投げて12本のスキttl（木製ピン）を倒して得点を競う競技。得点が50点に早くなったチームが勝者ですが、50点を超えると25点まで減点されます。プレーを重ねるとチームワークも生まれ、50点に達するとチーム全



注目のなかで「よし、狙ったピンを倒した！」

員で達成感を共有します。



チームは4人1組（高齢者2人・子ども2人）で編成され、子ども達の正確なモルックさばきと高齢者の駆け引きでチームがひとつになり楽しい触れあいが生まれていました。会場では作戦を指示する声や歓声とため息、笑いが溢

れて、参加者からは「楽しかった」「狙いすぎて失敗した」「参加者賞や賞品があつておもしろかった」との声が聞かれました。

最高齢は92歳から最年少は6歳まで幅広く参加していただき、参加者全員へ参加賞と上位3チームの団体賞の他「ブービー賞」、最高齢者への「お元気大賞」、最年少者への「頑張ったで賞」が贈られました。次回も多くの方の参加で



「ブービー賞もあるの？」

《表紙写真》

森山地域おこし協力隊 黄治豪さん撮影。
森山の最高峰蓮華石岳（標高280m）山頂から森山北部を望む。諫早平野を眼下に多良岳、諫早市街、大村湾まで遠望できる。山頂は草原が広がり、巨岩の上に石仏が鎮座されている。
登山ルートは、赤崎町から山頂付近まで林道が通じている。車両通行可。

交流を深めましょう。

ふれあいいきいきサロントピックス

～サロンの参加者が2,000人を突破（令和7年度）～

サロンの原点は、井戸端談義。ご近所のお友達と月1回～2回、顔を合せて、おしゃべりやレクリエーションで楽しいひとときを過ごしませんか。
令和7年度の活動状況は、下記のとおりです。

■森山地区のふれあいいきいきサロン活動状況(令和7年度サロン活動報告書より)

サロン数	利用者	ボランティア (世話人)	計	延べ開催回数	延べ参加者
16グループ	160人	50人	210人	244回	2,194人

○令和7年7月下井牟田地区で「峰サロン」、10月本村地区で「ひばり」が発足しました。

■ふれあいいきいきサロンあれこれ

ひばり（本村・白塔地区）では「民謡あゆみ会（代表 釜崎悦子さん）」を招いて演奏会を開催。三味線の演奏と民謡に合わせて口ずさむ参加者もいました。また、懐かしい唱歌を童心に帰って合唱しました。



（代表 田中悦子さん）

輝く未来へ羽ばたく！ 森山の児童へおめでとうメッセージ ～市立森山中学校、森山東小学校、森山西小学校卒業式～

春の訪れが感じられる3月、森山の3つの学び舎で卒業式が行われました。新たな一步を踏み出したのは、森山中学校33名、森山東小学校13名、森山西小学校23名の卒業生。

教職員、保護者、地域の関係者が見守るなかで卒業生一人ひとりの名前が呼ばれると会場には元気な声が響きわたり、校長先生から卒業証書を手渡された子ども達の表情には、数々の思い出とともに希望が満ち溢れていました。

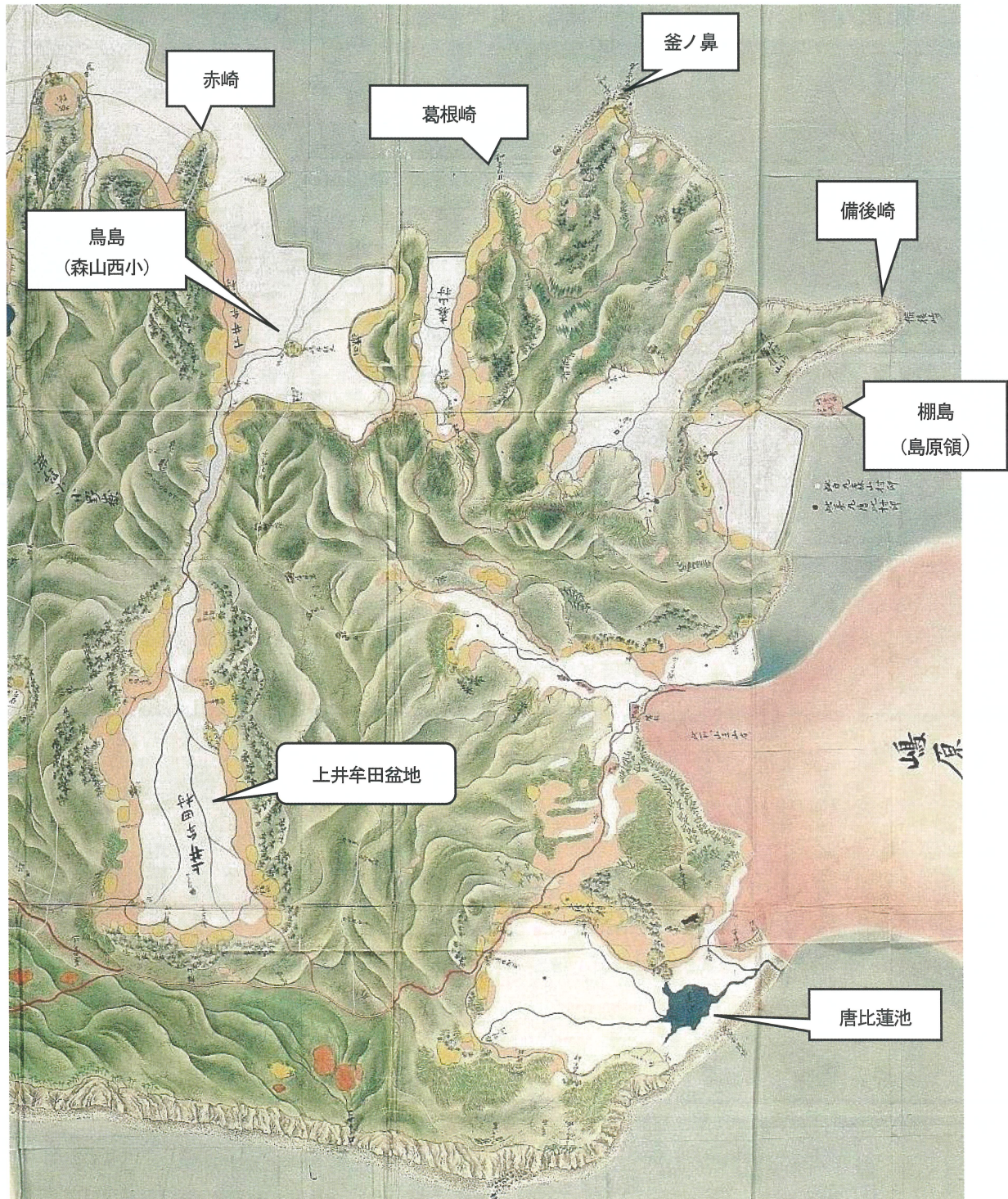
卒業生による「別れのことば」では、友達や先生そして見守ってくれた家族や地域の方々への感謝が言葉となって会場全体が温かな感動に包まれました。

皆さんがこの森山で学んだ「絆」と「学び」はこれからの人生の糧となるはずです。輝く未来へ羽ばたいてください。地域の皆さんは、これからも応援していきます。



残しておきたい 森山のあの日あの頃

～江戸時代中期森山絵図 諫早市立諫早図書館所蔵より～



○干拓線から判断して1750年代の絵図と考えられる。

絵図では杉谷甚兵衛籠(1746)は干拓され、本村三笠籠(1760)はまだ海である。

○鳥島(森山西小学校)付近、下井牟田の作左衛門籠、貞衛門籠付近まで干拓が進んでいる。

○葛根崎(本村)、釜の鼻(田尻)、備後崎(杉谷)は岬である。

○棚島(田の島)は、海に囲まれて島原藩の領地である。

○唐比の大きい池は「蓮池」である。森山に溜池はどこにもない。

○上井牟田は、森山で最も古い集落である。

ひとり暮らし高齢者の皆さんへ 森山の手づくりお弁当を ～ 民生委員の訪問活動の一環として～

森山に暮らすひとり暮らし高齢者の皆さんへ「森山のお弁当」を届けようと2月22日、民生委員、福祉協力員、森山地区食生活改善協議会の皆さん（以下、食改さん）が総がかりで弁当づくりに取り組みました。食改さんは、健康な日々を過ごすには栄養バランスに配慮した規則



おいしく食べて欲しいと弁当づくり

正しい食生活が大切との視点から、お煮しめや白和え・酢の物・魚フライなど高齢者に優しいメニューを考えて前日から下ごしらえに入りました。

当日は、食改さんが調理して、民生委員、福祉協力員がお弁当パックに配膳してボリューム満点の弁当ができあがり。

民生委員、福祉協力員は、担当地区で温かいお弁当を声かけをしながら手渡ししました。次のようなお声をいただき、携わった関係者一同も幸せな気持ちになりました。



「お変わりありませんか？」

- いつもありがとうね
- とても美味しく、最高に幸せでした。
- 白和えが旨かったよ
- 関係者の皆様にお礼申し上げます
- 嬉しか

《おしらせ》

■森山地区社協

地域福祉セミナー

- 日時 令和8年4月24日（金）
午後7時～
- 会場 森山公民館
- テーマ
「暮らしのなかで認知症と向き合おう」

○講師…あきやま病院
医師 宮田史朗氏

■森山地区社協総会

- 日時 令和8年5月22日（金）
午後7時～

○会場 森山公民館

○協議事項

- ①令和7年度事業報告・収支決算報告
- ②令和8年度事業計画・予算等

③森山地区社協地域福祉活動計画

○講演会

○テーマ

「今、相続を考える」

○講師…長崎地方法務局

「寄付ありがとうございました」

左記の方々からご厚意による寄付金をいただきました。

寄付金は、自治会福祉活動助成等、森山地域の福祉事業に大切に使用させていただきます。

令和8年1月1日～3月31日

《香典返し寄付》

◎田 尻 村田 マサヨ様

◎本 村 城下 正美様

◎本 村 松尾 武将様

◎田 尻 毛利 由美子様

◎田 尻 高橋 雄二様

◎田 尻 徳男様

◎田 尻 匿名

◎森山町内

◎匿名

◎匿名

◎匿名

◎匿名

◎匿名

◎匿名

◎匿名

